



久山年神社社報 第二十号 たよしの杜



宮司 本田孝裕

『神葬祭』

神葬祭と書いて「しんそうさい」と読みます。

簡単に言えば、神道式（神社式）のお葬式です。

お葬式的话题を社報で書くのは縁起でもないかな？と思いましたが、人間誰しもいずれは死を迎えます。避けては通れないことなので、あえて書かせて頂きました。

さて「神社もお葬式するの？」と思われた方もいらつしやることでしょう。神葬祭は仏教式に比べ圧倒的に数は少なく、年間を通じて一件、二件あるかないか程度です。ですから神葬祭を知らない方がいらつしやるのは無理もないことです。現在の神葬祭は神道を信仰する家の方が亡くなられた場合や、神主家の誰かが亡くなった場合にだけ行われているのが現状です。

お陰様で。と言うと不謹慎ですが、近年少しづつ神葬祭に対する問い合わせが増えつつあります。理由は色々あると思いますが、神葬祭に立

ち会った方が質素ながらもその厳かさに感動されること。また費用が安いこと。などが上げられると思います。

神葬祭では故人の履歴を奏上致します。生い立ちから今までどんな人生を送ってきたのかを、祭詞にしたためて読みます。そのため「神道のお葬式は故人の人生や人柄が判って惚びやすくて良いですね。」とお言葉を頂きます。

また費用の面では、仏教式では当たり前の「戒名」というものがありません。男性か女性かの違いがあるだけで御霊（みたま）の名前はある程度決まっているからです。したがって「戒名代」という費用がかかりません。戒名代がかかる分、仏教式はどうしても神葬祭より費用が高くなる傾向があります。

さらに仏教式では七日ごとに法要を行い四十九日で忌明けとなりますが、神道式の場合は十日ごとに行い五十日で忌明けとなりますので、そもそも回数も少ないです。

ここ数年、家族葬という形も一般化してきたこともあり、家族や親族だけで集まり質素にあまりお金をかけずに葬儀をする方が増えてきました。宗教を介さない方法で葬儀をされる方もいらつしやるようですし、そもそも自分の家が何の宗教・宗派を信仰しているのか知らないという方も多いようです。

自分の家が何の宗教・宗派を信仰しているか判っている人でも「うちは〇〇寺の檀家だけど、お寺とはそれほど深い付き合いもないし特にこだわりもない。でも何らかの宗教方式で御霊を送りたい。」という方が神葬祭に関心を持たれるのかもしれない。

昔と違い、時代が変わって今は色々な弔い方があります。自分の葬儀はどのような方法にしたのか？元氣なうちに「家族で相談しておくのも大切な事かもしれない。」



神葬祭の様子

ご寄付をお願いします

「久山年神社 社殿百周年記念事業実行委員会」の4回目の会議を6月に行いました。

前回の建築案からさらに修正を重ねて、ほぼ下記の案で確定しました。総工費は約1億円（周辺地の整備を含む）です。

出費が多用の折、大変恐縮ではありますが、何卒ご寄付をお願い致します。

寄付は直接、久山年神社社務所までお持ち頂くか、左記の口座へ振り込み願います。

（振込手数料は差し引いて構いません）

【寄付振込先】

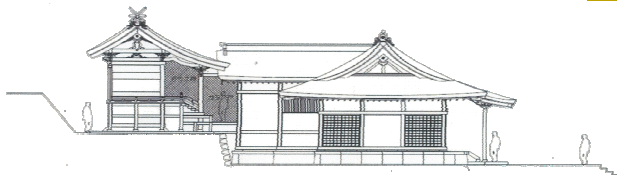
十八親和銀行 多良見町支店

口座番号（普） 5009504

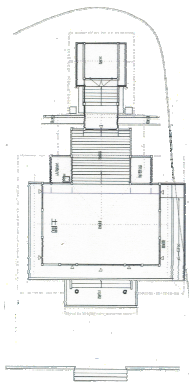
たちばな信用金庫 多良見支店

口座番号（普） 1586247

久山年神社記念事業実行委員会 宛

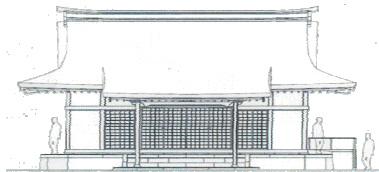


↑ 側面（社殿左側）からの間取り（案）
将来のバリアフリーを考えて右側にスロープを付ける予定です。



← 上からの間取り（案）

拝殿（参拝者が座る所）は間口を広くする予定です。
また現在は履物を脱いで上がる社殿ですが、今後は土足のまま上がる土間式を考えてます。



↑ 正面からの間取り（案）
現在は瓦の屋根ですが、銅板葺きに変更の予定です。

4年ぶりに開催決定！ 久山年神社例大祭（久山くんち） 10月8日（日） 午前9時～

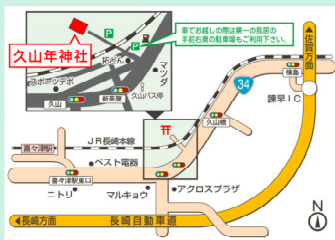


【プログラム】

午前9時～ 例大祭神事

午前10時～ 開式

- 子供書道展表彰式
- 農高肥前太鼓
- 龍踊り（くやまえん園児）
- 変面ショー
- 奉納こども相撲
- ラッキー抽選会
- 紅白餅まき



駐車場は神社周辺にご用意していますが、台数に限りがありますので、出来るだけ乗り合わせてお越し下さい。

※プログラムの時間や内容は変更になる場合があります。

お問い合わせは「久山年神社」または
「久山くんち実行委員会」（久山公民館内 電話0957-26-1206）まで

七五三は久山年神社へ

11月15日は七五三です。

ぜひ氏神様の当神社へお参りください。

10月の中旬頃より順次受け付けてますので、都合の良い日にご予約ください。

今年の七五三は

【三歳】令和3年生まれ（うし）の男児・女児

【五歳】平成31年（令和元年）生まれ

（いのしし）の男児

【七歳】平成29年生まれ（とり）の女児
が対象です。（※いずれも数え年）

ご家族お揃いでお参りください。



夏詣御朱印 好評頒布中です

昨年に続き、今年も久山年神社・御館山稲荷神社・橘神社・小濱神社の四社で「開運！雲仙！諫早四社巡り夏詣御朱印」を頒布中です。

8月末までになっていますので、まだ間に合います。四社全て廻った方は、五つ目の御朱印を受けることができます。

五つ目の御朱印を受けた方には、抽選で50名にオリジナル御朱印帳が当たる番号券をお渡ししています。皆さまのお越しをお待ちしています。



フォトコンテスト開催中です

7月15日より8月末まで県内の12社の神社の共催で「神社フォトコンテスト」ながさきの神社と夏」を開催中です。最優秀賞にはAmazonギフト券3万円分！プロ・アマ問わず、あなたご自慢のベストショット写真で応募ください。

応募は簡単です。12社のいずれかにお参りに行つて「夏らしい神社の写真」を撮影して、インスタグラムに投稿するだけです。

以下の2点だけご注意ください。

- ①撮影と投稿をする参加神社のインスタグラムアカウントをフォロー
- ②以下の2つのハッシュタグをつけて投稿「#ながさきの神社と夏」「#(写真を撮影した参加神社名)」

皆様のご応募をお待ちしています。



県内12社の神社と夏が感じられる写真をインスタグラムで募集します！

#ながさきの神社と夏
#(写真を撮影した参加神社名)

上掲のハッシュタグを両方つけて、インスタグラムに投稿！

賞品

- 最優秀賞1名 (Amazonギフト券3万円分)
- 優秀賞3名 (Amazonギフト券1万円分)
- 特別賞3名 (Amazonギフト券5千円分)



詳細は左のQRコードからご覧下さい。
(当社のブログへ飛びます)

御奉賛のお願い 「久山年神社社殿百周年記念大改修工事」の寄付趣意書

謹啓 氏子崇敬者各位には常日頃より久山年神社へ格別のご高配を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

当神社は文禄元年（西暦一五九二年）に創建され、爾来四三〇年に亘り久山町を始めとする地区の氏神様として鎮座しております。近年は少しずつ参拝者も増え、境内は賑やかな声が聞こえてくるようになりました。現社殿は昭和四年に建設されましたが、一の鳥居から社殿まで続く奥行きのある参道、幅広で長い階段があり自然豊かな城山に囲まれた境内、堂々とした佇まいの鳥居、県内でも屈指の規模を誇る立派な社殿、全てが当時の粋を結集した神社であります。

しかしながら九十年を過ぎた社殿はシロアリの被害や雨漏り、地盤沈下による社殿の歪みがあり、各所に老朽化が進んでおります。一部には早急な対応が必要な場所があるほど深刻な状況です。

先般より対応策について宮司・神社総代・他役員一同、慎重に協議を重ねて参りましたが、この度、全面的な大改修が必要との結論に至りました。令和十一年に社殿百周年を迎えることもあり「社殿百周年記念」として工事を行なうことに決定した次第です。

費用については本来であれば神社会計で賄うところではありますが、莫大な費用のためそれとも叶わず、氏子崇敬者の皆様にご支援とご協賛をお願いする事と相成りました。出費ご多用の事とは存じますが、皆様方には事情をご察察いただきまして、格別のご協賛を賜りますようお願い申し上げます。

敬白

令和五年八月吉日
氏子崇敬者各位

「久山年神社 社殿百周年記念事業実行委員会」

実行委員長 栗林宏光
監事 吉岡数俊
宮司兼事務局長 本田孝裕
実行副委員長 吉川優子・祐野伸弘
相談役 南条博
他理事・顧問一同

久山年神社 社殿百周年改築 奉賛者の特典

寄付額 待選	100万円以上	50万円以上	30万円以上	10万円以上	5万円以上	1万円以上 (屋根銅板)
御礼状	○	○	○	○	○	○
御芳名社殿掲載	○ (特大)	○ (大)	○ (中)	○ (中)	○ (小)	
記念品	○	○	○	○		
特別記念品	○	○	○			
感謝状	○ (記入)	○ (記入)	○ (記入)	○		
完成内覧会	○	○	○	○	○	○
竣工祭参列	○	○	○	○	○	
竣工直会臨席	○	○	○	○		

5万円以上の寄付額については分割奉納もできます。ご相談ください。

龍石権現祭を ご奉仕しました

4月9日(日)に龍石(たつし)権現祭を斎行致しました。龍石権現は久山町花之木地区の山中に鎮座する巨石が御神体で、昇龍伝説が残る祠です。久山年神社奉賛会の皆さんにより、年に二回の清掃活動と、年に一回の祭祀が行われています。

天気が良ければ諫早市内が一望できる眺めが良い場所にあります。山登りも兼ねてお参りされてみてはいかがでしょうか？



田祈禱祭 恙なく終了

今年も6月25日(日)に田祈禱祭(たきとうさい)を執り行いました。

田祈禱祭とは、田植えが終わる頃に行なわれるお祭りで、お米の豊作を祈る諫早の伝統行事です。

当日は早朝から社殿に防腐剤を塗布したり、境内の清掃を行い、祭典に臨みました。

田んぼの水口に御幣が立てられています。お米は私たち日本人の主食です。道中で御幣を見た際には、どうぞ秋の豊作をお祈り下さい。



編集後記

毎日暑い日が続いております。どうぞ水分補給・塩分補給を充分にして熱中症に気を付け下さい。また八月〜九月は台風の時季です。こちらも台風情報に注視しながらお気をつけ下さい。十月には四年ぶりの久山くんちを行います。皆様の変わりないお姿をお祈りしつつ、元気に神社にお越しになるのをお待ちしております。



創建 文禄元年
久山年神社

社報「たよしの杜」第20号 令和5年8月15日発行
【発行所】久山年神社社務所
〒854-0066 長崎県諫早市久山町 2275-2
TEL 0957-26-5393 / FAX 0957-47-6888
<https://kuyama-toshi-jinja.jp>



ホームページ



フェイスブック



インスタグラム



ツイッター